こんな雪初めて！積丹町交流

▲民泊先の子どもたちと雪景色の中で記念撮影

２月１日から４日にかけて、市内の小学５・６年生１０人が、３泊４日の日程で北海道積丹町を訪問しました。積丹町での交流は今回で３回目ですが、冬の訪問は初めてとなりました。

参加した児童の感想

北海道の雪は、パラパラで少しにぎったぐらいじゃあ固まりません。けれど、何回かにぎると雪玉になったので雪合戦をしました。くずれないようにしっかりとにぎって雪玉を作りましたが、当たる前にくずれてくやしかったです。でも雪が飛び散り、もとの粉雪にもどる様子が芸術的できれいでした。

心に残ったことは、積丹町の人の優しさです。美国小学校の小学生はどんどん話しかけてくれました。ぼくは、積丹町の人の心の温かさを感じ、積丹町がますます好きになりました。

安全で安心なまちづくりに貢献

２月１５日、高知会館で高知県安全安心まちづくり推進会議総会が開かれ、**高知県安全安心まちづくり功労団体表彰**を有光栄美子さん（香北町）が授賞されました。

これは、犯罪のない安全で安心なまちづくりに貢献した団体や個人を表彰するものです。

有光さんは、夏休み中の子どもたちとのラジオ体操や、ヤクルトレディとして独居の高齢者宅を訪問する『ヤクルト地域見守り隊』などの活動を通し、地域の見守りや活性化の活動を長年続けてこられました。

▲表彰式で謝辞を述べる有光栄美子さん

目指せキャプテン翼！

▲優勝賞品の『キャプテン翼』のユニフォームを手に笑顔

３月４日、高知市のよさこいドームで開催された**キャプテン翼カップ土佐**のU−１０クラスで、香北少年サッカー部が優勝しました。

大会は６人制のフットサル。４年生が主体となり初めて挑むフットサルでしたが、予選を１位で突破し、決勝戦では敗戦濃厚となった残り約１５秒で同点、ＰＫ戦の末に優勝という劇的な勝利をつかみました。初参戦したフットサルでの優勝に、子どもたちは誇らしげな笑顔を見せていました。

高知市と連携！広域都市圏

３月２８日、香美市は高知市との間に**れんけいこうち広域都市圏に係る連携協約**を締結しました。

この協約は、高知県の中枢都市である高知市と連携することで、人口減少や少子高齢化の課題を抱える中山間地の「経済成長のけん引」や「生活関連機能サービスの向上」など、圏域全体の政策を推進することを目的に締結したものです。

詳しくは香美市ホームページをご覧ください。

▲高知市と県内の全市町村が連携協約を締結した

香美市駅伝競走

３月１８日、高知県森林総合センター周辺（土佐山田町大平）をコースとした**第１１回香美市駅伝競走**が開催されました。

当日は肌寒い曇り空となりましたが、オープン参加を含む３０チームの選手が力走し、『山の民』チームが優勝しました。

参加者らはアップダウンの激しいコースに挑み、爽やかな汗を流していました。

優勝	山の民（４０分４１秒）
２位	高知工科大学陸上競技部（４１分３８秒）
３位	チームYaMaDa（４３分００秒）

区間賞　５区間１２km

区間	距離	氏名	所属	記録
１区	２．８km	岡本拓馬	高知工科大学陸上競技部	９分２０秒
２区	１．８km	片岡正明	チームYaMaDa	６分０３秒
３区	２．８km	渡辺翼	山の民	９分１３秒
４区	１．８km	高橋亜華音	チームYaMaDa	５分５７秒
５区	２．８km	宮脇智也	香美市役所駅伝部	８分５１秒

森林浴でリフレッシュ

▲公園内の花や樹木などの説明を聞きながら山道を歩いた

３月２４日、セントラルグループの関係者１７人が参加し、地域間交流事業として**セントラルグループ香美市物部の森２０１７**が開催されました。

これは、香美市と『環境先進企業との協働の森づくり事業のパートナーズ協定』を締結している団体が、森林の大切さを知り森に親しむことを目的に、毎年開催しているものです。

参加者たちは、県立甫喜ヶ峰森林公園で森林散策を楽しみました。公園での昼食後は、香美市の観光名所である龍河洞に移動し洞内を見学しました。

将棋名人への第一歩県大会で優勝

２月１８日、高知市の文教会館で行われた**第４３回小学生将棋名人戦高知県大会**で、大宮小５年生の小松璃久さん（香北町）が優勝し、大阪市で行われる西日本大会への出場を決めました。

県大会は２４人が参加。予選２連勝の小松さんは、決勝トーナメントでも得意の振り飛車で積極的に攻めて３連勝し、初優勝を飾りました。

小松さんは、毎週土曜日に中央公民館で開かれている『こども将棋教室』で腕を磨いており、今後のさらなる活躍が期待されます。

▲表彰状を手に家族と笑顔の小松璃久さん